

これからの地域日本語教育

宮城県の今、そして学生と 地域日本語教育の連携・協働を考える

趣旨 昨今の日本語教育界では、新たな動きが次々に展開されています。そのような状況の中で、宮城県内では今、何が行われているのか、日本語教育に関する新たな事業・実践について「宮城県の今」を情報共有します。その上で、日本語教師を目指す大学教員養成課程で学ぶ学生が地域で行った実践と、現在地域の日本語教室等で行われている日本語教育の実践を、両者が持ち寄り紹介し合うことによって、これから日本語教育に関心のある学生と地域の教室がどのように連携・協働ができるか、みなさんと話し合いたいと思います。

対象 地域日本語教育に興味のある方なら
どなたでも！

参加無料
定員80名

日時 12月1日 (日) 10-15時

会場 東北大学 中講義棟 2階
文学部第二講義室
(キャンパスマップC18)



↑アクセス

問い合わせ HoT-JeT事務局
(hot-jet@grp.tohoku.ac.jp)

申込 以下のリンクまたはQRコードから
<https://forms.gle/SjxLdwRdp5ax2n7GA>



申込締切：
11月24日 (日)

プログラム

第1部 宮城の今

- 10:00-10:05 趣旨説明
- 10:05-10:50 宮城県内の体制整備
- 10:50-11:00 休憩
- 11:00-12:00 ブースセッション
- 12:00-13:00 昼食休憩

第2部 学生と地域日本語教育の連携・協働に向けて

- 13:00-13:05 趣旨説明
- 13:05-13:45 大崎市立おおさき日本語学校
(認定日本語教育機関) について
- 13:45-14:30 グループセッション・全体共有
- 14:30-14:55 情報交換会・交流会
- 15:00 閉会

凡人社の書籍展示
もあります

第1部 発表者・ブースセッション参加者

【宮城県内の体制整備 (10:05-10:45)】 会場：文学部第二講義室

大崎市立おおさき日本語学校（認定日本語教育機関）
地域日本語教育推進体制整備事業（MIA）
地域日本語教育推進体制整備事業（SenTIA）
北海道東北ブロック日本語教師養成実施機関連絡協議会（HoT-JeT）

【ブースセッション (11:00-12:00)】 会場：文学研究科棟1階

<大学生・大学院生：5団体>

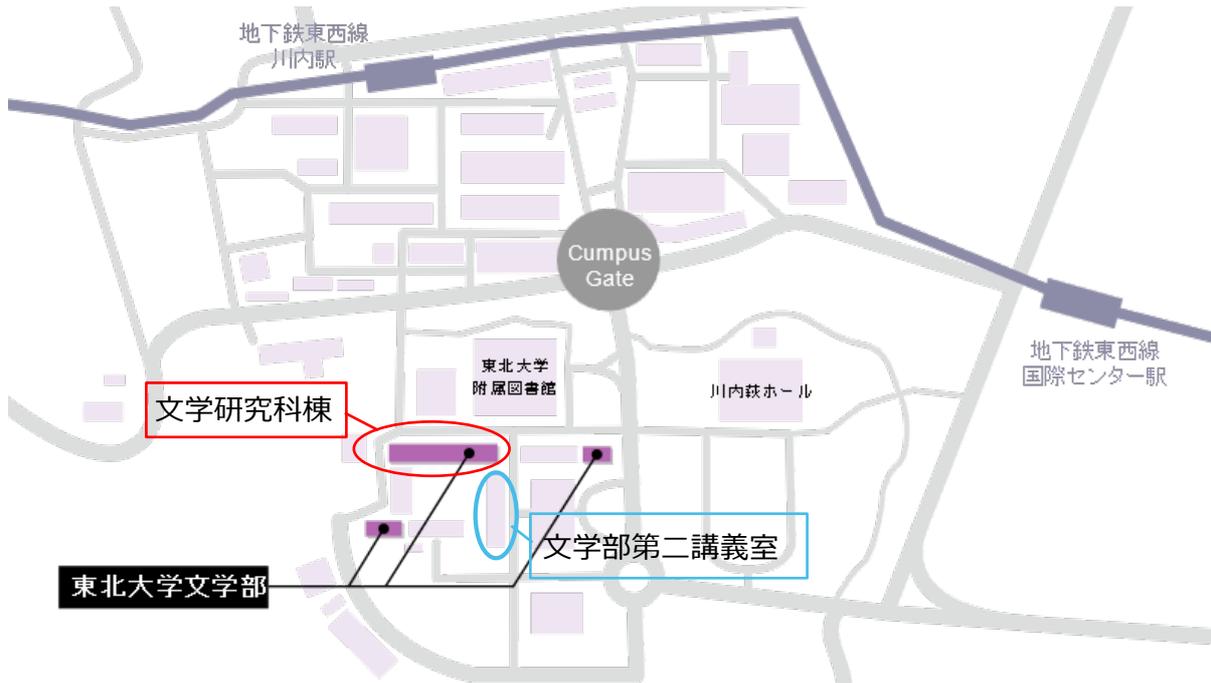
北海道教育大学函館校、国際教養大学、東北大学、宮城学院女子大学、宮城教育大学

<地域日本語教育：9団体>

国際交流協会ともだちin名取、まるもり日本語ひろば（丸森町）、Yurt東北日本語教師協働会、
特定非営利活動法人ICAS国際都市仙台を支える市民の会、日本語ティールーム、
公益財団法人宮城県国際化協会（MIA）、公益財団法人仙台観光国際協会（SenTIA）、
外国につながりをもつ子どもの応援ネットワーク「おむすび」、みやぎのほし（順不同）

お知らせ

- ・ネットワーク会議当日は、学内の食堂・購買店ともに営業しておりませんので、昼食はご持参ください。
- ・学内に駐車場はありません。最寄りの有料駐車場：<https://www.aobayama.jp/access/parking.html>
- ・会場はブースセッションのみ東北大学川内南キャンパス**文学研究科棟1階**、他は**文学部第二講義室**です。
* 仙台市地下鉄東西線（八木山動物公園行き）川内駅または国際センター駅で下車して徒歩10分です。
国際センター駅は距離的には近いですが、急な坂道です。



* 本会議は、文部科学省令和6年度日本語教師養成・研修推進拠点整備事業の助成を受けています。